

現代の旦那とお出入り職人

新しい関係が生まだす
— 住まいとまち —

2023 年 11 月 30 日 (木) 13:10 ~ 17:00

会場 建築会館ホール および オンライン

建築会館ホール 東京都港区芝 5-26-20

JR 田町駅 三田口徒歩 3 分 / 都営地下鉄三田駅 A3 出口徒歩 3 分

参加費 無料

定員 会場参加 100 名 / オンライン参加 300 名

主題解説

講演

ディスカッション モデレーター



蟹澤宏剛

芝浦工業大学 教授



河野直

つみき設計施工社 共同代表 / 東京大学 研究員

河野桃子

つみき設計施工社 共同代表

【ともにつくる！】



殿塚建吾

onusnuo 不動産 代表

【空間から街まで DOMI する不動産のあり方】



大島奈緒子

ようび 建築設計室 室長

【国産地域材のものづくりと学びづくり】



更科安春

一般社団法人まめなファウンダー

【限界集落でくらしを取り戻す】



吉原勝己

吉原住宅有限会社 代表取締役
株式会社スペース R デザイン 代表取締役

【ビンテージビルが拓いた住まい造りの可能性】



松村秀一

早稲田大学 理工学術院総合研究所 研究員 教授

パネルディスカッション

モデレーター 松村秀一

パネリスト 河野直 河野桃子 殿塚建吾 大島奈緒子 更科安春 吉原勝己

現代の旦那とお出入り職人

新しい関係が生みだす住まいとまち

住 宅ストックが世帯数を上回る状況は今後ますます顕著になる。空家や過疎化の問題は地方部のみならず都市においても顕在化しつつある。従来のように行政やボランティアによる一過性の活動では限界。建物とまち、コミュニティが再生されるには、かつてのお出入り職人のように、職人は身分と収入、旦那は建物の維持保全や困りごと解決という Win-Win の関係が成り立つことが必要ではないか。ここでは、事業として建物や地域再生に取り組み、その中で、すまい手や職人と新しい関係を構築してきた先達の皆さんと、住まいづくりの将来について考える。

申込方法

ホームページの申し込みフォームにご記入の上、お申込みください。
住総研 HP <http://www.jusoken.or.jp/symposium/jusoken.html>
※申し込み開始は8月下旬を予定しております。



申込締切日

11月22日(水)まで

問合せ

一般財団法人 住総研
〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-12-2 朝日ビルディング 2 階
mail : sympo@jusoken.or.jp
TEL : 03-3275-3078
FAX : 03-3275-3079

※このシンポジウムは継続職能研究(建築士会 CPD)認定プログラム(4単位)です。

次回予告

次回の第62回住総研シンポジウムは、「**郊外住宅地のネイバーフッドマネジメント**」をテーマに2024年7月頃開催予定です。詳細は住総研HPにて公開いたします。